

児童家庭支援センター

ファミリーステーションいなみえん通信

発行：社会福祉法人 伊奈美園 発行日：令和3年6月吉日【第28号】



出会うこととコロナ禍

あさだ のぶみ
心理主任：浅田 伸史



新型コロナウイルスの感染は変異株の出現もあり、収束どころか更なる拡大の様相を呈している。そんな中、感染予防が物事を決めていく第一の基準となっている。ファミリーステーションいなみえんでも、玄関にはアルコール消毒液が置かれ、非接触型の体温計が準備されている。マスクをしないで勤務するなど考えられない状況なのはどこでも同じだろう。

これまで私は心理療法担当者として、お互いの表情がどのように見えているのかが相談者との相互的なかわりの中で大きな役割を担っていると考えてきた。もちろん、その想いは今も変わらないし大事なものだと思う。しかし、先に述べたように実際にあらゆる場面で人と会う時にはマスク着用が当然の世の中になっている。

もちろん、目元からでも表情はわかるとはいえ、マスクなしの時とは大きな差がある。良いとか悪いとかではなく、マスクをした状態でないと我々は他者と出会うことがすでに出来なくなっている。自分たちいなみえんの職員同士でも、同様にマスク越しでの関係である。否応なくこれまでの価値観が変わっていくし、変えていく必要がある。これまでとは違った世界で私たちは出会い、かわり、お互いを知っていくことになるのだ。

昨年度の感染拡大時には相談業務を大きく縮小し、相談時間を短縮したり電話相談に限定した対応をした時期もあった。しかし、そのように縮小するだけでは地域の相談を受ける機関としての役割を全うすることが出来ないとの思いから、Zoomを利用した遠隔相談も利用できるようにと工夫したりもした。

しかし、実際に遠隔相談事業を始めてみると思ったよりも相談数は増えなかった。対面の相談再開まで待ちますとの声もうかがったりもした。遠隔相談を受け付けた件数は、相談件数の中で想像していたよりもずっと少なかった。

この結果を振り返り、やはり、相談は対面じゃないと、とも思える。遠隔では相談したくても自宅からでは安心して相談できないという方もおいでた。一方で、一件でも遠隔相談を利用された方がいたならば選択肢を増やすことは意義のあることだと言う考え方もできる。



コロナ禍という未曾有の事態は、私たちみんなを一つの大きな災害の中に放り込んでいると同時に、それぞれが個別の大きさでのトラウマを抱えさせられているとも言われている。マスク一つとっても、「みんながマスクをしているから、何とか安心できている。それなのに、マスクをせずにいる人を見ると許せない」と感じる方もいれば、「いつでもどこでもマスクマスク、本当にそんなに必要なのか？神経質すぎるよ」と嘆く方もいる。たとえば、お茶などを飲んだ後にそのままマスクをせずに話しかけられたとき、あなたは、そして私はどのように感じるだろうか。

普段であれば、「いろんな考え方があるよね…。」で済むことが、違った考え方を許す余裕がなくなってしまう。私たちのつながりを「マスク」「外食」「外出」といったことで、分断してしまう。コロナという禍は我々の体の健康だけでなく、人間関係までも破壊してしまう怖さを持っている。

だからこそ、いや、それでもと言った方がよいだろうか。私たちはマスク越しであろうと、パソコン越しであろうと、以前と違うから物足りないというのではなく、新たなかかわり方の中で何ができるのか、何を感じられるのか、もっとできることはないのか、この新しい世界を探索し、つながっていかこうとするのだ。

令和2年度実績報告

相談件数

新規受理件数（前年度からの継続の方も含む）は合計 147 名であり前年度より 58 名増加しました。また、相談延件数は合計 1173 件となり前年度から約 250 件増加しました。以下、相談延件数の内訳について説明します。



(1) 相談方法の月別相談延件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	10	15	31	11	12	15	26	17	30	20	26	18	231
来所	1	20	23	26	1	1	17	22	24	19	8	25	187
訪問	1	10	68	128	19	11	61	29	63	52	87	82	611
心理	12	3	4	7	16	12	14	12	11	17	14	9	131
他	0	3	1	0	0	3	4	0	1	1	0	0	13
延	24	51	127	172	48	42	122	80	129	109	135	134	1173

令和2年度は新型コロナウイルスの影響が大きく見られた1年となりました。日本で新型コロナウイルス感染が拡大した“第1波”とされる4~5月は例年に比べて相談件数が半数ほどに落ち込みました。そんな中で6~7月には『食の緊急支援プロジェクト』が開始されたことをきっかけに訪問相談を中心に相談件数を伸ばしました。

8月頃には“第2波”が押し寄せ、再び相談件数が減少しましたが、『食の緊急支援プロジェクト』の第2弾・第3弾を通して多くの支援ができたこと、“第3波”の時期にはコロナ禍における相談援助方法を当センターなりに確立していたことが影響し、結果として前年度よりも相談延件数が増加したと考えられます。

(2) 相談内容の種別延件数

養護	虐待(再)	保健	障害	非行	育成				いじめ	DV	他	合計
					性格行動	不登校	適性	しつけ				
434	339	23	0	2	541	160	11	0	0	0	2	1173

相談内容に関しては、近年の当センターの傾向と同じく、「性格行動」「虐待」「不登校」が多い結果となりました。従来の相談に加えて、新型コロナウイルスの影響もあり変化した生活様式、それにより複雑化する家庭や学校での問題に対して当センターはどのような支援ができるかを常に念頭に置きながら、子ども・家庭にとって良い支援ができるように努めていかなければいけないと考えています。



センター玄関前の花壇
(キンセンカ) (フレンチラベンダー)



児家セン内にも♪



新人職員の紹介



なかむら まい
相談員：中村 真依

はじめまして。昨年度2月より勤務させていただくことになりました中村真依と申します。

大学を卒業後は観光・宿泊業界で勤務しておりましたので、異業種からのチャレンジとなり慣れない日々が続いております。入職して最初の2か月間は研修として当法人の児童養護施設と放課後学童クラブにて子ども達と関わり、各施設での日々は、子どもと関わるということの幸せ・楽しさ・厳しさなどを体感できた貴重な時間でした。上手く馴染めるだろうか、受け入れてもらえるだろうかという不安な気持ちも少しありましたが、子ども達は私に興味を持ち、慕い、いつも素直に接してくれました。中には私を『まい先生』やフルネームで呼んでくれたり、『明日は何時から何時までいるの?』と聞いてくれたりと、触れ合う時間を心待ちにしてくれる子ども達も現れ、純粋に嬉しく温かい気持ちになりました。今年度からは当センターにて、田中所長をはじめ、浅田主任、森川心理士のご指導の下、センター職員としての勤務が開始しております。ここでの私ができる役割を見つけ、皆さんの笑顔の一助になれるよう頑張りたいと思います。





「超多難な令和3年度の始まり」



たなか たかし
所長 田中 孝

4月12日、2年ぶりに開催された中部地区児童家庭支援センター協議会総会に出席しました。久しぶりの高速道路運転に新鮮味を感じながら、1時間半で敦賀市福祉総合センターあいあいプラザに到着しました。コロナ対策のため大きな会議室に少人数のテーブル配置がしてありました。今年度の中部&全国の研修会は昨年度のように中止でなく、全てのリモート開催が決定・報告がされました。これもコロナ時代の仕方なき宿命と思いました。

現状報告では、当センターも実施した“食の緊急支援プロジェクト”は、多くのセンターからいろんな形態での手法が報告されました。他のとても参考になった報告は、幾つかのセンターでフォスタリング事業をスタートした件、ファミリーホームの開設を検討している件、児家センの全国的な調査が始まり注目される時期になるという点でした。わずか3時間弱でしたが、『やっぱり対面での会合はいいなあ』と改めて感じました。

GWと共にコロナ禍の第4波に入り、石川県だけでなく地元の加賀市でも幾つかのクラスターが発生し、一段と強い自粛生活を余儀なくされるこの頃です。

【山代出張相談】

＜場所＞山代よりみちハウス
＜日時＞毎月第2金曜
14:00～16:00
連絡は当センターまで♪



【相談ダイヤル】

月曜日～土曜日
9:00～17:00
0761-75-8889
お気軽にどうぞ

【今度の予定】

- 6月15日(火)
子ども支援連絡会(月定例)
- 6月18日(金)
親の会(月定例)
- 6月21日(月)
山代地区子どもを育てる会(月定例)

曜日	一般相談担当	心理担当(要予約)	
	中村	浅田	森川
月	9:00-17:00		9:00-17:00
火	9:00-17:00		13:00-21:00
水	9:00-17:00		13:00-21:00
木	9:00-17:00		13:00-21:00
金	9:00-17:00		9:00-17:00
土	9:00-14:30	10:00-17:00	9:00-14:30
日			

子どもと家庭の悩み 話してみませんか？

児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL 0761-75-8889 FAX 0761-74-1461 E-mail center@inamien.jp HP http://www.inamien.jp